

Contest

【過去の結果発表】

2004年作曲コンテスト ファンファーレ編 結果発表

前々回の作曲コンテストを凌ぐ、コンテスト史上最多の作品が応募され、今回もやむを得ず予備審査を実施致しました。予備審査を通過しなかった応募者の皆様、本当に申し訳ございませんでした。そして、応募くださった皆様、沢山のご応募ありがとうございました。

入選された加藤さん、おめでとうございます。

3月15日に『音楽の絵本ウェブショップ』にて販売を予定しています。

残念ながら、惜しくも入選に至らなかった皆さんも、次回コンテストに再度挑戦してください。

また、次の作曲コンクールは、ズーラシアンブラス 5周年記念として位置づけ、最優秀作品は、8月にリリース予定のCD『金管アンサンブル邦人オリジナル作品集（仮称）』に収録いたしますので、そちらにもふるってご応募ください。

(2005/02/16)

Fanfare 「LIGHT and SHADOW」 作曲：加藤大輝

試聴は→[こちら](#)

【コメントとプロフィール】

■楽曲について

ファンファーレは、演奏会のメインとして取り上げられることはまずないと思うので、他の大曲に影響のないように、「最小限の負担で最大限の効果を」と思い作りました。そのため、なるべくソロの前後には数小節の休みがあるように書いてあります。音楽的には、とにかくわかりやすく書いてあり、技術的にも易しいので、中学生でも十分対応できると思います。ただ細かいタンギングが多いので、なんとかごまかしてください。いろいろな形で現れる「光と影」を表現できると、短いファンファーレの中にも、表情が生まれるのではないのでしょうか。

初めて金管アンサンブルの曲を書きましたが、予想外の結果に驚いています。ですが、せっかく出版していただけるので、多くの方に吹いて・聴いていただきたいです。僕は、プロの作曲家を目指しているので、今後もっと努力をして、演奏をしている人も、聴いている人も楽しめるような曲を書けるようになりたいと思います。ありがとうございました。

■プロフィール 加藤大輝

1987年、岐阜県大垣市生まれ。吹奏楽部・管弦楽部・市民バンド等で、各種管打楽器を経験。作曲を武野晴久氏、ピアノを武野晴子氏に師事。作曲の会「Shining」会員。現在岐阜県立大垣南高校2年生。

【審査員】

中川 喜弘 Trumpet 奏者、アレンジャー、ZB 音楽監督 (Jazz 担当)
三澤 慶 Trumpet 奏者、作曲家、ZB 音楽監督 (Classic 担当)
萱島 佳代 Pianist、スーパーキッズレコード プロデューサー
大塚 治之 ZOORASIAN BRASS プロデューサー

【総評】

今回は、前々回の作曲コンクールを超える、過去最多のご応募をいただきました。前々回同様、予備審査を実施いたしました。

今回の印象といたしましては、『短い分だけファンファーレの作曲は難しい』ことを再認識したことです。

応募作品の多くは、必ず部分的に『おっ!』と思わせる、印象的なフレーズやアイデアがあるのですが、殆どの作品が、それを展開できない、もしくはまとめられない状況であったように思われます。

短い分だけ、より計算された構成力が必要であったと考えます。

また、オリジナル作品との区別がつかない作品も数多くありました。

ズーラシアンブラスでは、別枠でオリジナルのコンテストを設けているわけですから、オリジナルとファンファーレのコンテストの違いについては、その主旨を汲んでいただきたかったと思います。

コンサートマーチがあるように、コンサートファンファーレなるものも、存在しても良いのかもしれませんが、信号音楽としてのファンファーレには、聴かせるだけでなく、少なからずアテンションゲッターとしての機能がなければいけないと考えます。

もっとも、音楽の歴史を塗り替えるような、地球的歴史的な天才作曲家がそうした機能を持たないものを『これはファンファーレである』と発表すれば別かもしれませんが。

今回入賞された加藤さんの作品は、素直にファンファーレを捉え、誰にでも理解でき、ファンファーレならではの格好良さを持つ点と、使いようによってカットできる工夫が評価されました。

ちなみに、加藤さんは当コンテスト史上初の高校生入賞です。

ご応募くださった皆さん、本当にありがとうございました。

(2005.02.16 ズーラシアンブラスプロデューサー 大塚治之)